

1 平成24年10月3日(水)

出席者 : 副院長、事務部長、看護部長、管理課長、産婦人科医長、
高坂外部委員、伊藤外部委員

検討事項 : 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

日本産科婦人科学会周産期委員会 周産期登録事業および登録情報
に基づく研究

議論概要 : 本研究課題については、福島第一原子力発電所事故が発生し、国民
の間に、放射線の健康影響への不安が高まった。これまでの科学的
知見からは、今回の事故に伴う放射線被ばくにより、一般の方々に
健康影響が生じることは考えにくいと評価されている。しかしなが
ら、国民の不安を解消する観点からは、放射線の健康影響を評価す
るためのデータをできる限り収集し、これまで予期されなかった影
響が万一にも生じることがないか、見守っていくことが重要である。
以上より福島県におけるエコチル調査は調査対象地域を全県下と
し、化学物質に加え放射線の健康影響も評価する。

日本産科婦人科学会周産期登録データベースは、地域周産期基幹病
院としての使命として本邦の周産期関連情報データベースに参加
し、もって学術的側面から周産期学的发展に寄与すること。登録参
加施設となることを通じて、本データベースを用いて学会あるいは
他の研究者から報告される新たな知見を当施設における臨床研究お
よび免疫学解析に敷衍する手段が得られること。2011年度からは本
データベースへの登録参加が日本周産期・新生児医学会の定める研
修施設認定に必要な加点基準の一つの項目に加えられたことを踏ま
え、登録参加により当施設の臨床研修施設認定および研修活動が有
利になることが研究参加の目的。

決定事項 : 承認

承認

2 平成25年2月25日(月)

出席者 : 副院長、事務部長、看護部長、管理課長、産婦人科医長、
高坂外部委員、伊藤外部委員

検討事項 : セレン欠乏症患者に対するセレン内服治療研究

議論概要 : セレンを欠乏している症例患者に対して、補うためにセレン内服液
を経口投与し、改善効果を検証する治療研究の可否。

決定事項 : 承認